

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024
5
 vol.317

福島県酪農青年研究連盟主催 第55回福島県ホルスタインショー開催!!



「第4部の審査風景」



右から 審査員：一般社団法人 家畜改良事業団 前橋種雄牛センター
 業務第一課 課長 松原 薫 氏
 審査長：福島県農業総合センター畜産研究所 所長 山本 みどり 氏
 プレゼンター：三浦 さくら さん 鈴木 陸斗 さん

★**グランドチャンピオン**
 ●**経産牛の部**
 ヒルトンステージ ラスター アップル 号
 福島市 鈴木 奨悟 氏

●**未経産牛の部**
 クリサンス S サイド アポロ 号
 猪苗代町 成田 昌弘 氏

TOPICS

- ・令和6年度生産奨励対策事業のご案内について…… ②～③
- ・福島県酪農青年研究連盟 第52回通常総会開催 …… ⑥
- ・福島県酪農協酪農研究部 設立総会 …… ⑥
- ・福島県酪女性部やまびこ会通常総会開催 …… ⑦

組合員の皆様へ

福島県酪農業協同組合

福島県酪農業協同組合 令和6年度生産奨励対策事業のご案内について

組合は、今年度下記生産奨励対策3事業に取り組みます。

事業の詳細は各事業の欄をご確認下さい。

1. 乳房炎ワクチン奨励事業
2. ゲノミック検査事業
3. 醗酵 TMR 飼料利用対策奨励金交付事業

令和6年度の実産奨励対策事業が4月26日理事会で決定されましたので、下記のとおりご案内します。

今年の実産奨励対策は、厳しい酪農情勢が続いている中ではありますが、酪農経営支援対策を優先し、より効果的な事業に絞った奨励対策とし、総額10,900千円強を事業予算化しました。組合員皆様の安定した経営継続と収益確保に繋がるよう、各事業を上手に活用して頂けますことをお願い致します。

各事業に対して不明な点がありましたら組合職員にご質問ご相談願います。

なお、各事業の事業申請案内を別途おこないます。各事業の予算額で未消化が見込まれる事業につきましては、申請・要望の多い事業に年度途中で予算を振り向ける場合がありますのでご承知願います。皆様の経営改善のために、計画した予算額を有効に活用して頂きたいと考えておりますので、ご理解の程お願い致します。

また、酪農家戸数減少や生産基盤縮小が顕著となっている状況から、福島県内の生産基盤を維持・確保していく為、組合の基幹事業として、継続的に新規就農者・後継者支援事業を実施することとなりました。次世代を担う新規就農者（事業継承含む）や後継者に対し、継続的な支援を実施するために設けた事業となりますので、ご理解の程お願い致します。

【1】乳房炎ワクチン奨励事業（継続）

目的：乳房炎は、乳房炎症による乳質低下、食欲減退から死に至る個体損耗や供用年数の低下、泌乳量減少や治療費増加、休業期間中の出荷制限による経済的損失に加え、搾乳時間延長や経営者への精神的ストレスを与える昔からの大きな問題となっている。

これら問題軽減化のために、近年、国内でも乳房炎ワクチンが一部酪農現場で使用されるようになってきた。本事業では、組合員の乳房炎コントロールの一手段として、乳牛の損耗や搾乳者の精神的ストレスを軽減することを目的とする。

内容：組合員の敷地内で飼養している乳用牛に対して、組合が指定する乳房炎ワクチン（スタートバック[®]）を接種した場合に800円/回以内を助成する。

助成対象頭数は、組合が定めた期日までに申込した頭数を元に、申請者に対して定期全頭接種分（最大年4回/頭）を個別通知する。ただし、予算を超過する申請があった場合は、助成単価を調整する場合がある。 （予算 8,000千円）

【2】ゲノミック検査事業（継続）

目的： 酪農経営継続と収益確保を考える上では『どの牛にホルスタイン精液を使って後継牛を残し、どの牛に和牛受精卵や和牛精液を人工授精し収益を確保していくか』そして、『自分の乳用牛を客観的に評価しどの様に乳牛を改良していくか』といった『交配計画』が重要になっている。

近年、乳牛の生産能力や体形、健康係数等、様々な遺伝能力が把握できる検査が一部酪農家で利用されている。ついては、必要な後継牛頭数を確保しながら遺伝能力を把握し交配計画にもとづいた後継牛確保を推進し、組合員の収益確保を図ることを目的とする。

内容： 組合を通じて実施した生後12ヶ月令以内の乳用牛ゲノミック検査(検査機関/家畜改良事業団・野澤組・ファームノート)に対して、検査料金から国等補助金額を控除した補助残5,000円以内/検査を助成する。

また、耳片採取に必要なアプリケーターの購入に対して1/2以内を助成する。ただし、アプリケーター助成は1戸1台のみとする。(予算 2,500千円)

※組合員からの申込みが予算額を超過した場合、本事業を終了することがある。

ただし、無償 SNP 検査事業対象牛は本事業の対象外とする。

【3】発酵 TMR 飼料利用対策奨励金交付事業（継続）

目的： 組合独自製造飼料である、発酵 TMR 飼料利用者の計画的利用拡大と健全経営の確立を支援し、併せて組合系統利用の推進を図る。

内容： 本組合が供給した発酵 TMR 飼料を一定量以上利用した生産者に助成金を交付する。

FD ミックス

各四半期合計 90.0 トン以上 (月平均 30.0 トン以上) : トン当たり 2,000 円

各四半期合計 67.5 トン以上 (月平均 22.5 トン以上) : トン当たり 1,000 円

各四半期合計 45.0 トン以上 (月平均 15.0 トン以上) : トン当たり 700 円

各四半期合計 22.5 トン以上 (月平均 7.5 トン以上) : トン当たり 300 円

新規就農者・後継者支援事業（新規・基幹事業）

目的： 新規就農者が、新たに酪農経営を実施するために必要な施設・設備・乳牛等の資産を取得した場合、それに係る費用の一部を助成することで、初期費用負担の軽減を図り、新規就農者の確保に繋げる事を目的とする。

また、既存の酪農経営において、酪農経営の円滑な継承、および経営移譲された後継者の主体的な酪農経営への参画を支援することを目的とする。

内容 :1) 新規就農者支援

酪農経営を実施するために必要な施設・設備・乳牛等を自ら取得し、新たに酪農経営を開始する者(第三者による事業継承を含む)に対して、事業費から国等補助金額を控除した補助残の1/2以内(助成上限 税込 2,000千円以内/戸)を助成する。

2) 後継者支援

経営移譲を実施された酪農後継者に対して、1年間の経営実績を確認した後、1牧場当たり税込50万円を助成する。

酪農後継者については、経営継承した日において、49歳以下の後継者とし、個人経営については後継者への出荷者名義変更、および税務申告者名義の変更を実施した者とする。法人経営については、現役員の子息等であって、新たに役員になった者とする。

いずれの場合においても、年間の酪農作業従事日数が150日以上となっている者とする。

福島県酪農青年研究連盟主催 第五十五回福島県ホルスタインショー開催!!

四月二十日(土)に本宮市の福島県家畜市場にて、福島県酪農青年研究連盟主催(福島県後援)「第五十五回福島県ホルスタインショー」を開催しました。

審査長に福島県農業総合センター畜産研究所所長山本みどり氏、審査員に一般社団法人畜産改良事業団前橋種雄牛センター業務第一課課長松原薫氏をお迎えし、厳正なる審査を行って頂きました。

また、福島県農業総合センター農業短期大学校畜産経営学科二年生三浦さくらさん、畜産経営学科一年生鈴木陸斗さんにプレゼンターを快く引き受けて頂きました。

出品区分を六部制にて開催された今回の大会では、県内各地より出品者十九名、三十四頭が出品いたしました。ホルスタイン種の改良促進に必要な飼養管理と乳牛に関する知識の普及啓蒙を図り、酪農経営の合理化に寄与することを目的に開催されています。

審査の結果、経産牛の部において、福島市の鈴木奨悟さん出品の「ヒルトンステージ ラスター アップ

ル号」が、未經産牛の部において、猪苗代町の成田昌弘さん出品の「クリサン S サイド アポロ号」が、グラッドチャンピオンの栄光に輝きました。受賞された方々はおめでとうございました。なお、各部の審査結果は表の通りとなっております。

また、長年にわたりホルスタインショーにおいて、活躍され、福島県内の乳牛改良に多大なる貢献をいただきました福島市の阿部克男さんには、当連盟橋本幸太郎会長より、その功績をたたえ、功労賞並びに記念品をお贈りいたしました。引き続き阿部さんの活躍をご期待し、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

さらに、ジュニアショーにおいてはリードマン育成の場として、高校生を対象とした部門を新たに設け、「シニアの部」には高校生七名、「ジュニアの部」には元気なちびっこたちが参加し、本大会を盛り上げてくれました。

会場には、たくさんの方々が来場し、会員同士・仲間同士が交流する場とな

り、出品いただきました出品者の皆様、ご来場いただきました皆様、お疲れさまでした。引き続き、酪農連事業へのご支援、ご協力の際、よろしくお願いいたします。

(H・W)



功労賞 福島市 阿部克男さん



中学生以下の子供たちを対象とした「ジュニアの部」には元気なちびっこたちが参加しました

第52回福島県酪農青年研究連盟 通常総会開催！！

～新会長に橋本幸太郎氏が就任～

さらなる酪農振興を目指し、新体制で新たなスタートを切る！！

4月5日(金)福島県農業総合センターにて、福島県酪農青年研究連盟第52回通常総会を開催しました。

新型コロナウイルスが第5類に移行したため、来賓をお招きし会員にも実参加いただいた上で、通常の形式で開催致しましたが、全提出議案において賛成多数により可決しました。

今回の総会では、役員改選があり、福島県酪農協酪農研究部・全農福島酪農同志会から選出された14名の新役員候補者が承認されました。続く三役互選会議で、新会長に橋本幸太郎氏(酪農研究部)、新副会長に木目澤初実氏(酪農研究部)、古関政人氏(酪農同志会)、新代表監事に柚原友加津氏(酪農研究部)が選ばれました。

今後、橋本幸太郎会長のもと、新役員で二年間、決意を新たに活動して参ります。(H・K)



各酪農研究会を統合した新しい組織 「福島県酪農協酪農研究部」が設立される

令和6年4月5日(金)に、郡山市にあります福島県農業総合センター大会議室において、「福島県酪農協酪農研究部」の設立総会が開催されました。

近年の酪農情勢により酪農経営は大変厳しく、酪農家減少に歯止めがかからない状況となっており、そういった中で各酪農研究会においても会員減少が問題視され、令和4年度より福島県酪農協青年部の役員会にて、「各酪農研究会の統合」の協議を行い、会員同士の親睦や情報交換等の活動が今後行えるように検討を重ねてきました。

この度の設立総会において、福島県酪農協青年部に所属していた各酪農研究会を統合した「福島県酪農協酪農研究部」が新しく設立されました。

「福島県酪農協酪農研究部」の新体制として、会長に安齋洋志氏(県北)、副会長に橋本幸太郎氏(県中)、代表監事に福田匠氏(県中)が選ばれました。

また、福島県酪農協青年部は同日に開催された通常総会において解散となりましたが、引き続き、皆様には「福島県酪農協酪農研究部」の会員として各事業へのご参加等ご協力の程、よろしくお願いいたします。

依然として酪農情勢は厳しい状況ではありますが会員一丸となり乗り越えていけるよう会員の皆様のご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。(H・W)



お知らせ

福島県酪農協酪農研究部主催
「視察研修会・親睦会」の開催について

福島県酪農協酪農研究部として、6月28日(金)に、「視察研修会・親睦会」を開催することが決まりましたので、追って、詳細をご連絡しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

福島県酪女性部やまびこ会通常総会開催

去る4月9日(火)福島県酪女性部やまびこ会第33回通常総会が、本宮市本組合会議室において開催されました。来賓として、福島県農林水産部畜産課木幡和宏主任、福島県酪農業協同組合紺野宏代表理事組合長、酪王協同乳業(株)鈴木伸洋会長がご臨席くださいました。

議事に入る前に令和5年度のみまわりコンクールの優秀作品に対しての表彰が行われました。

令和5年度事業報告並びに収支決算が承認され、令和5年度の事業計画並びに収支予算案が可決されました。今回は役員改選も行われ下記の方々を選出されました。

また、非常に残念ではありますが、県南やまびこ会が令和6年度をもって解散となる報告を受け、県酪女性部やまびこ会では、令和7年度より一本化に向けて、今年度協議して参ります。

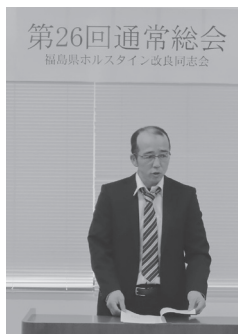
令和6年度も引き続き消費者への牛乳乳製品や酪農に対する理解醸成活動・研修会・環境美化運動をさらに推し進めながら、県酪青連事業や東北酪青女事業の参加協力などの各種事業を行っていくことになりました。会員の皆様の積極的な事業への参加と、ご支援ご協力をお願い申し上げます。(K・M)



福島県酪女性部やまびこ会 新役員のご紹介

会 長	齋藤 麻貴子 (県中)
副会長	小沢 めぐみ (県南)
監 事	福田 祐子 (県中)
//	岩谷 光代 (県南)
役 員	佐藤 恵美 (県中)

福島県ホルスタイン改良同志会 通常総会開催



令和6年4月4日(木)、福島県ホルスタイン改良同志会(会長:成田昌弘氏(JA会津よつば))の通常総会が書面にて行われました。令和5年度は、コロナの感染法上の分類が5類引き下げられ、通常通りの活動が実施できるようになってきました。令和6年度も、役員・会員一丸となり頑張っていきたいと思っております。

福島県ホルスタイン改良同志会では、新規会員を募集しております!

共進会が好きな方や乳牛改良に興味がある方等、どんな方でも入会可能です。情報交換ができる研修会や忘新年会等も行っておりますので、興味のある方は、ぜひ事務局までご連絡をお待ちしております。

(事務局:福島県酪 組織振興室 三浦 TEL0243-63-2225)

県中やまびこ会手芸教室

県中やまびこ会(会長 佐藤真理子)では、2月7日(水)手芸教室を開催いたしました。県中全体での開催を予定していましたが、積雪等天候の都合で、急きょ会津は別に6日(火)に実施しました。作品は同じ物で、花の彩り押絵のタペストリーを作りました。分かりにくかったり難しいところもありましたが、皆で集まって作ることで、教えあったり、一人では思いつきもしなかった工夫を知れ、会話が弾み楽しみながら作ることができました。また苦戦しながらも想像し手先を動かすことで脳の活性化にも繋がりました。時間内に完成させることは出来ませんでした。続きは自宅で作り、華やかで素敵なお部屋の飾りが出来ました。(Y・K)



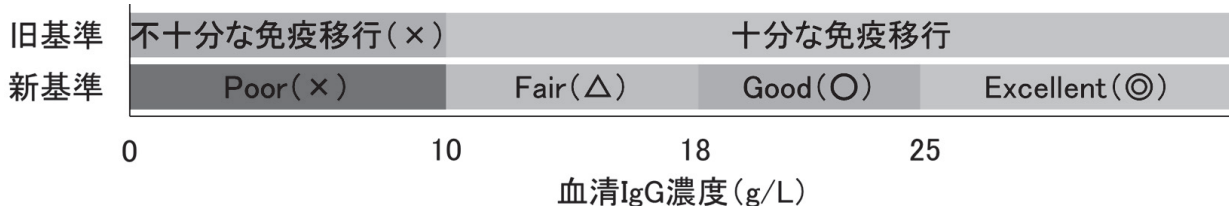
全酪連の小窓 5月号 ～哺育管理をアップデートしよう～

蒸し暑くなってきた暑さが身に染みて感じるようになりました。今年はどこまで暑くなるのか予想つきません。今月頃から分娩が固まって予定されている方もいらっしゃるかと思います。暑さに負けないよう新たな哺育管理で子牛の発育を伸ばしていきましょう。

子牛の免疫移行の基準

生まれて1回目に給与する初乳についての情報です。皆さんは初乳を給与する際に抗体がどのくらい入っているかなど気にされたことはあるでしょうか？

2020年に子牛の免疫移行の基準が大きく改定されましたので、ご紹介します。改訂前では、生後24～48時間の血清IgG濃度が10g/Lあれば十分な免疫移行とされていましたが、改定後では**25g/L以上をExcellentという評価に引き上げ**られました。また、牛群内での目指すべきカテゴリーの割合についても下表の通りに示されました。年間の出生頭数が少ない方でも、年間を通してこの数値に近づけるように意識してみてください。



受動免疫獲得のカテゴリー	牛群内での割合 (%)
Excellent (◎)	40超
Good (○)	30以下
Fair (△)	20以下
Poor (×)	10未満

Excellentの子牛では、**消化器疾病や呼吸器疾病の罹患率が低いこと、哺育初期の発育速度が増加**することが分かっています。



Excellentを達成するためにどれだけの初乳を飲ませればいいのか？

血清IgG濃度 > 10.0g/L
にするためには
150-200g以上のIgG給与が必要

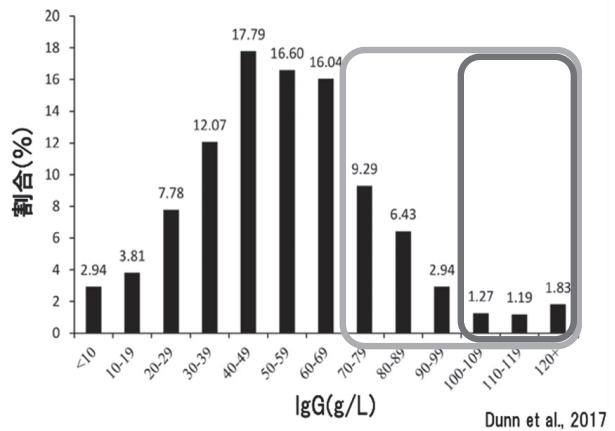
血清IgG濃度 > 25.0g/L
にするためには
300g以上のIgG給与が必要



目標：生後6時間以内に300gのIgG給与がベースラインとなります。

- ・初回到3Lの給与で300gのIgGを給与するには**初乳1L当たり100gのIgGが必要**
- ・初回到4Lの給与で300gのIgGを給与するには**初乳1L当たり75gのIgGが必要**

右図は牛群内のIgG濃度別の頭数割合を示したものです。**1L当たり75gのIgGを含む初乳は全体の23%、1L当たり100gのIgGを含む初乳は全体の4%しかいないことが分かります。**初乳を最大限活用するために**初乳と代用初乳を組み合わせた給与方法**も効果的です。



現場で初乳の品質を確認する方法として、**Brix計（糖度計）**があります。計測して**20度（IgG濃度50g/L）以上**であると**良質初乳**としてみます。25度でIgG濃度75g/L程度となります。

Brix計は使用方法も使いやすく、安いものでは数千円で購入できます。初期投資にはなりますが、将来の牧場を支える後継牛やセリ販売に回す子牛の疾病にかかるコストと比較するとコスパは良いのではないのでしょうか。



←デジタル式
初乳を数滴垂らし
て計測

アナログ式→
初乳を太陽光に
透かして計測



移行乳から代用乳への切替問題

「代用乳への切替の際に上手くいかない、どうしても下痢になりやすい」という話はよく聞こえてきます。もしかしたら切替時に固形分としての摂取量が急激に増えていることが原因かもしれません。

移行乳を2L×2回の4L給与して、代用乳に切り替える場合を考えます。移行乳の固形分率は12～15%程度です。代用乳の固形分率は希釈倍率によりますが以下の通りです。

- 6倍希釈（5倍量のお湯）：16.7%
- 7倍希釈（6倍量のお湯）：14.3%
- 8倍希釈（7倍量のお湯）：12.5%

①固形分率13%の移行乳を4L（4kg）給与している時の固形分摂取量

→ $4\text{kg} \times 13\% = 520\text{g}$

②6倍希釈の代用乳で総量を同じ（4kg）とした時の固形分摂取量

→ $4\text{kg} \times 16.7\% = 668\text{g}$

③6倍希釈の代用乳でお湯として同じ給与量（4L）とした時の固形分摂取量

→ $1\text{L} \text{ 当たり } 200\text{g} \text{ の代用乳を溶かすため、} 200\text{g} \times 4\text{L} = 800\text{g}$

上記の3ケースを比較すると固形分摂取量に差があるのが分かります。移行乳から代用乳への変化に加えて、摂取する固形分量も変化するという二重の変化に子牛が耐え切れず調子を崩すこととなります。移行乳からの切り替えで上手くいかない時は固形分量をチェックしてみましょう。

給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.233



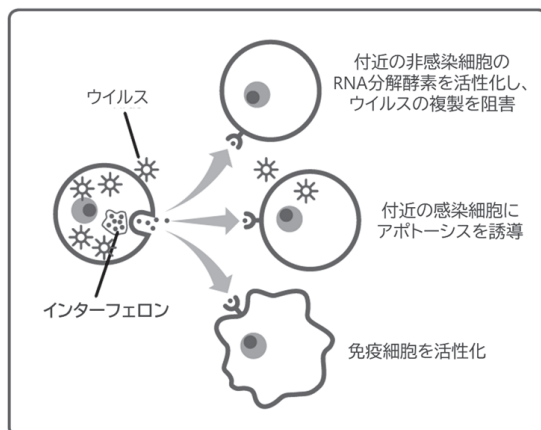
〒963-0196
 福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1
 日本全薬工業(株) 福島営業所
 TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

前回はヨーロッパにおける牛ウイルス性下痢（BVD）の清浄化対策とそれに貢献したワクチンについてご紹介しましたが、今回はその救世主のようなワクチン「ボベラ®」についてご紹介します。

BVDウイルスの病原性とその関連遺伝子

以前、BVDは様々な症状を引き起こす感染症であることをお話しました。では、そもそもBVDウイルスはどのようにして牛の健康被害を引き起こすのでしょうか。それは主に「BVDウイルスが持つ宿主細胞のインターフェロン（IFN）産生を抑制する機能」に関係しています。

IFNはウイルス等の病原体が感染した際に細胞から産生される物質ですが、右図のように体内でウイルスが増殖されるのを防ぐ様々な役割を担っています。



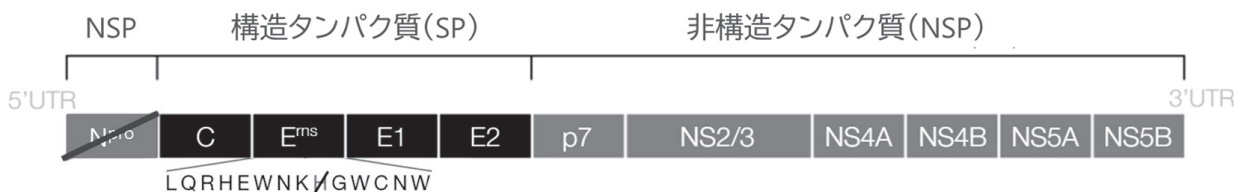
BVDウイルスは細胞のIFN産生を抑制する機能を有しており、体内で効率的に増殖することができます。そして宿主の免疫機能を抑制することで細菌等の二次感染を起こりやすしたり、胎盤を通過して胎子感染を起こしたりすることが知られています。分かりやすく言うと、BVDは「牛の免疫を下げる感染症」なのですが、一見、他の病原体が原因と思える症例でも、背景としてBVD感染による免疫低下が引き金になっている場合が少なくありません。

この厄介なIFN産生を抑制する機能ですが、実はこれまでの研究の結果から、すでに遺伝子レベルで原因が解明されています。下の図はBVDウイルスのゲノム構造を模式的に表したのですが、Npro遺伝子とErns遺伝子と呼ばれる2つの遺伝子がIFN産生の抑制に関与していることが明らかになっています。

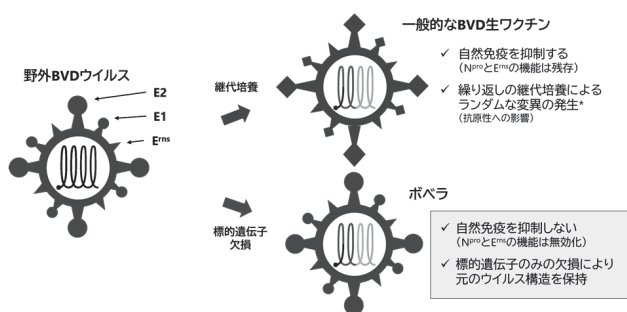


2重欠損技術により作出されたワクチン「ボベラ®」

ベーリンガーインゲルハイム社は、ドイツのフリードリヒ・レフラー研究所の研究者との協働により、BVDの病原性に関わる前述の2つの遺伝子のみを欠損させた株を生み出すこと（2重欠損技術）によって、従来の生ワクチンとは全く異なる方法で高度に弱毒化されたBVD生ワクチン（製品名®ボベラ®）を製造することに成功しました。このボベラ®は、下図のようにNpro遺伝子の大部分とErns遺伝子のたった1つのアミノ酸（ヒスチジン）のみが欠損されたゲノム構造をしており、生ワクチンとして重要なウイルスの複製に関する領域や、ワクチンの免疫原性として重要なエンベロープ（ウイルスを覆っている膜状の構造）等の構造タンパク質の領域を、ほぼ元のウイルス（野外株）のまま保存された構造をしています。つまりこのボベラ®は、「見た目」や「活発さ」は野外株とほぼ同じなのですが、牛の免疫を下げるという「悪さ」をしない、極めて理想的なワクチンと言えます。



この2重欠損技術は、BVDワクチンにおける革命であり、安全性と有効性の両面において非常に優れた技術です。これまでの生ワクチンは妊娠牛に接種できないというデメリットがありましたが（Vol.231参照）、ボベラ®は妊娠牛にも接種できるという高い安全性を有しています。



BVDウイルス-1株による攻撃			BVDウイルス-2株による攻撃		
試験群	供試頭数	垂直感染率	試験群	供試頭数	垂直感染率
ボベラ群	26頭	0%	ボベラ群	29頭	0%
対照群	9頭	100%	対照群	9頭	100%

ベーリンガーインゲルハイム承認申請資料

また、有効性においてはこれまでのワクチンにはなかった「胎子への垂直感染の防止（=PIを生み出さない）」という効能が記された、国内初そして国内唯一のワクチンです。攻撃試験では何と100%の垂直感染防止率が示されており（上表）、これまでの野外使用実績（世界20か国以上で2200万ドーズ以上を使用）では、ボベラ接種牛からPI牛の出生は1頭も確認されていません。皆様もボベラ®を活用し、より効果的なBVD対策を始めませんか。



®登録商標

令和5年度3月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、127円29銭5厘で前年より10円78銭1厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg(税抜)の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg(税抜)の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg(税抜)の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分(バター向け及び生クリーム向け)の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

- 東北全体プール乳代金 4,831,010千円 単価125.191円
- 内 福島県分プール乳代金① 564,001千円 単価125.191円
- プール対象外乳代金② 74,578千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)
- 合計乳代金①+② 638,579千円 単価128.961円

項目	令和6年3月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	125円237	114円548	10円689	107円484
補給金単価	1円577	1円497	0円080	1円162
集送乳調整金単価	0円481	0円469	0円012	0円364
合計	127円295	116円514	10円781	109円010

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体3月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	24,813	800.0	96.6	62.1	61.1
加工向け	6,648	214.0	95.3	16.6	16.6
学校給食向け	1,362	44.0	88.3	3.4	3.7
発酵乳向け	6,465	209.0	90.9	16.2	16.9
生クリーム向け	507	16.0	91.6	1.3	1.3
チーズ向け	156	5.0	107.8	0.4	0.3
合計	39,951	1,288.0	95.1	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

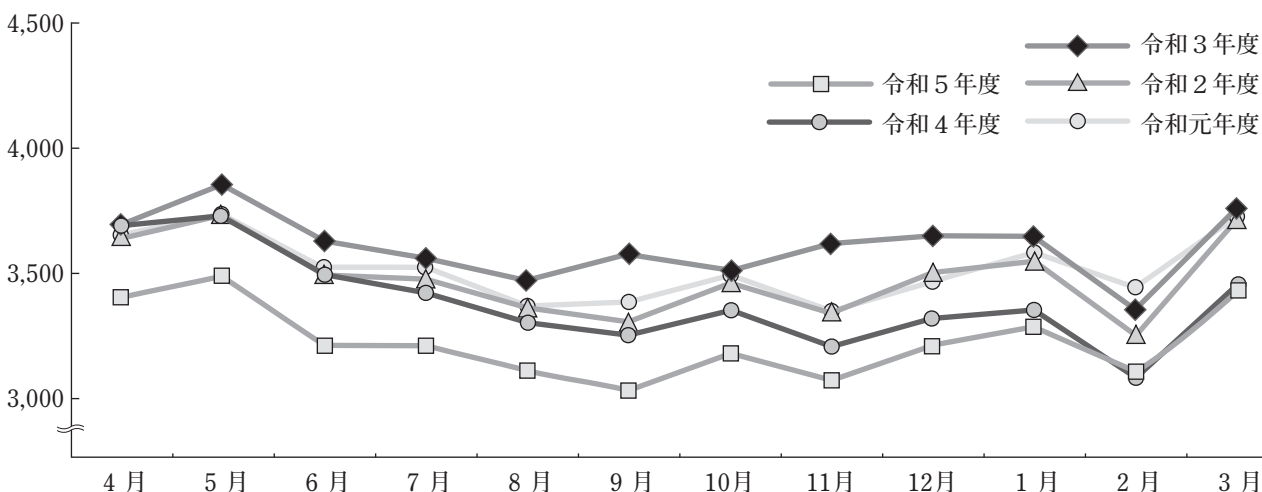
北海道：101.3%、都府県：98.7%

団体名	3月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	3,454	111.4	99.9
全農福島県本部	1,496	48.3	99.9
合計	4,950	159.7	99.9
東北生乳販連	39,951	1,288.7	95.1
全国	601,714	19,410.1	100.1

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
前年比%	92.3	93.5	92.1	93.7	94.3	93.3	95.0	95.6	97.3	98.3	102.2	99.9	95.5

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和6年3月の受託乳量は、県全体で前年比99.9%の実績でありました。団体別の受託乳量は、本組合が3,454ト、前年比99.9% (対前年同2ト減)、全農県本部は1,496トの対前年比99.9% (対前年同月2ト減) の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比95.1%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比100.1%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比でチーズ向けが107.8%と上回り、飲用向けが96.6%、加工向けが95.3%、学校給食向けが88.3%、発酵乳向けが90.9%、生クリーム向けが91.6%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ

要素としては、配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均39.8ト（前年比89.9%）で、本組合生産量の35.7%、県全体生産量の24.9%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和6年3月31日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 24	戸 29	% 82.8	頭 422	頭 197	頭 90	頭 488	頭 655	頭 1,233	頭 1,852	頭 1,930	% 96.0	頭 77.2
県中	46	53	86.8	241	91	118	350	719	1,187	1,519	1,657	91.7	33.0
浜	6	7	85.7	92	37	14	69	105	188	317	325	97.5	52.8
県南	32	34	94.1	549	248	184	659	880	1,723	2,520	2,567	98.2	78.8
合計	108	123	87.8	1,304	573	406	1,566	2,359	4,331	6,208	6,479	95.8	57.5

地区	月別分娩予定頭数							販売乳量					
	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量		
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛									
県北	頭 87	頭 52	頭 68	頭 104	頭 159	頭 148	頭 157	戸 19	kg 34,186	kg 1,799	kg 29.9	kg 27.7	
県中	89	41	52	80	82	99	116	45	28,066	624	26.3	23.6	
浜	5	8	14	29	22	16	26	6	4,980	830	28.6	26.5	
県南	133	99	97	161	157	188	256	30	44,139	1,471	28.7	25.6	
合計	314	200	231	374	420	451	555	100	111,371	1,114	28.4	25.7	

第342回 県酪協乳牛市場成績

令和6年4月12日開催

購買者数 19名 (うち県外11名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	17 (100)	363,000 184,000	306,706 (116)	101 (92)	3,033 (126)
	雄	35 (100)	501,000 125,000	378,829 (122)	110 (95)	3,439 (129)
乳牛	メス	2 (100)	14,000 4,000	9,000 225	66 (116)	137 (196)
	雄	44 (100)	88,000 1,000	65,136 (122)	94 (131)	690 (93)
交雑牛	メス	57 (100)	205,000 49,000	162,491 (142)	81 (105)	2,000 (134)
	雄	45 (100)	266,000 17,000	158,711 (134)	78 (98)	2,036 (137)

価格：円(落札価格) 率・比：% 体重：kg

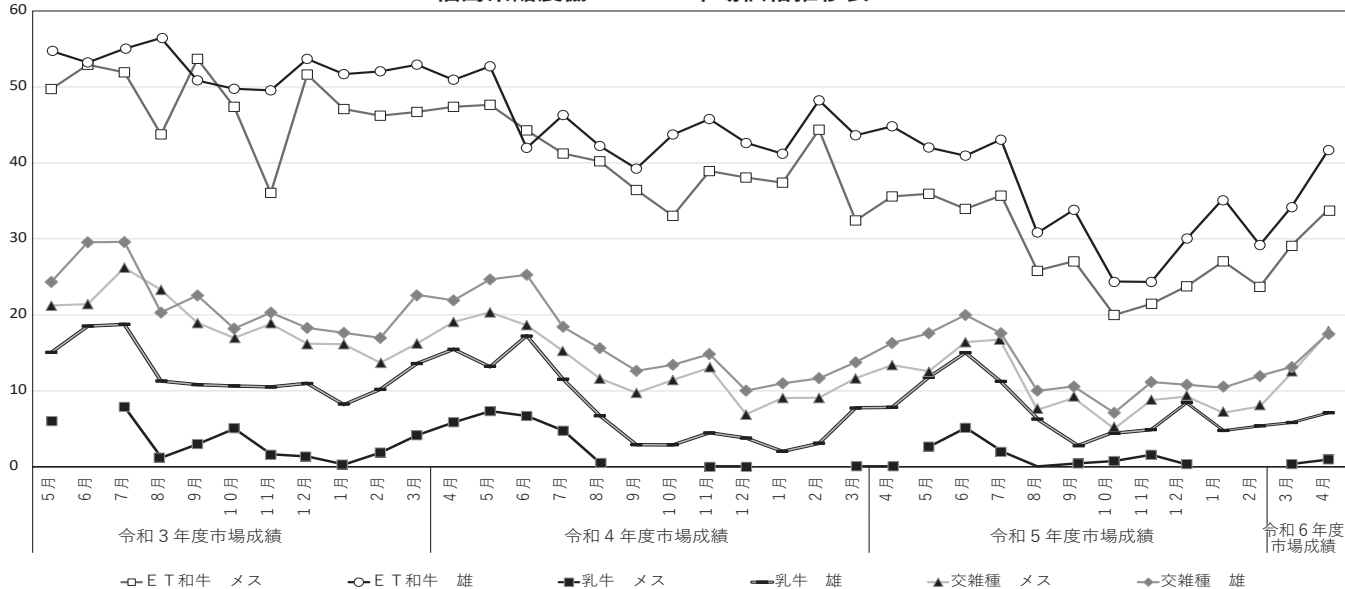
初生牛の価格帯別分布表

(0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜種	雌雄	価格帯(万円)																								
		20	~	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
ET和牛	メス	1		1	7	5		1	1		1															
	雄	2					2	1	5	2	2	5	2	3	2	2		1	1	1		1		2	1	
乳牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	メス	1	1																							
	雄	2	1	1	1	3	4	10	7	15																
交雑牛		<0	1	~	4	~	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	メス				1		1		1	3	1	5	1	1	5	6	9	11	10	2						
	雄		1		1						2	3	6	6	5	3	6	4	2	2		3				

単位:万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 4 月

4月1日	令和5年度下期棚卸監査	4月12日	乳牛せり市場
4月4日	福島県ホルスタイン改良同志会 総会（書面）	4月16日	原発事故損害賠償対策酪農団体協 議会幹事会・総会
4月4日	県中やまびこ会通常総会	4月20日	第55回福島県ホルスタインショー
4月4日	県南やまびこ会通常総会	4月22日	県中地区運営委員会
4月5日	福島県酪農青年研究連盟第52回通 常総会・第1回役員会	4月23日	県北地区運営委員会
	福島県酪農協青年部通常総会	4月24日	県南地区運営委員会
	福島県酪農協酪農研究部設立総 会・第1回役員会	4月24日	全国畜産配合飼料価格安定基金 理事会・評議員会（WEB）
4月8日	第1回管理生産委員会	4月25日	経営検討会
4月9日	福島県酪女性部やまびこ会総会 ・役員会	4月26日	第1回理事会
		4月30日	東北生乳販連事業推進委員会

理 事 会

第12回 令和6年4月26日

議 案

報告事項

- 第1号議案 令和6年度事業計画（案）並びに収支予
算（案）について
- 第2号議案 令和6年度生産奨励対策事業実施計画（案）
について
- 第3号議案 新規就農者及び後継者支援対策基本方針
（案）について
- 第4号議案 令和6年度地区運営委員会定数の制定につ
いて
- 第5号議案 令和6年度支部活動費等交付金について
- 第6号議案 令和6年度乳牛導入に係る貸付金額条件の
緩和について
- 第7号議案 子会社の株主総会における議決権の委任に
ついて
- 第8号議案 酪王協同乳業株との土地建物等賃貸借契約
書の締結について

- (1) 今後の日程について
- (2) 総会までの日程について

酪王協同乳業
からの

今年も、「酪王ももオレ」が再発売中!! 「酪王ももオレ」を飲んでもらおう!キャンペーンも開催中!!

桃の旬を今か今かと待ちわびている皆様へ、福島県を代表する桃「あかつき」を今年は一足早く、桃の花が咲き、吾妻小富士に雪うさぎが現れる時期にお届けします。

コクのある福島県産生乳にジューシーで甘味が強い「あかつき」を加え、「桃と乳を合わせると桃の風味がでない」という乳飲料の弱点を克服し、まろやかな乳と桃2つの美味しさを両立しました。

パッケージは昨年大好評の、福島に春を告げる吾妻小富士の雪うさぎと麓に広がる果樹園のデザインを継続使用。

今しか味わえない、数量・期間限定のおいしさをお楽しみください。



発売日：2024年4月22日(月)より

販売先：県内各スーパー、コンビニエンスストアなどでお求めいただけます。

価格：500ml 184円(税別) 199円(税込)

300ml 146円(税別) 158円(税込)

規格：福島県産生乳使用、ミルク分25%、乳飲料規格

酪王 ももオレを 飲んでもらおう! キャンペーン



対象商品
 ●酪王ももオレ(500ml)
 ●酪王ももオレ(300ml)

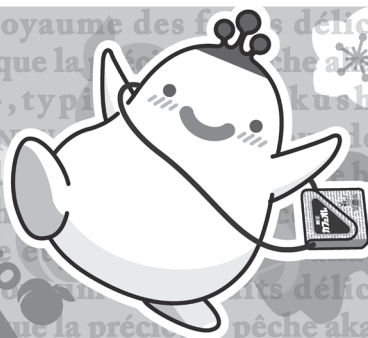
応募期間

2024年4月22日(月)～
 2024年7月5日(金)

対象商品のバーコードでご応募!

- ① 酪王ももオレ(500ml) 2枚1口
- ② 酪王ももオレ(300ml) 3枚1口

『酪王ももオレベコ』が
 抽選で30名様に当たる!



Wチャンス

はずれた方の中から
 抽選で100名様に
 酪王カフェオレ
 チャーム



キャンペーンに関するお問い合わせ先

酪王協同乳業株式会社

酪王協同乳業株式会社 郡山工場
 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷80-1 TEL.024-951-7731(代)

組合員の皆様へ

令和6年5月
購買畜産課

栄養剤・殺虫剤特別推進 のお知らせ

日頃より当組合購買事業にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、新緑の時期を迎え、これからますます気温が上昇すると、乳牛への影響も心配されます。

組合では、適期に合わせて栄養剤・殺虫剤の特別推進を実施しております。すでにご案内が届いている事としますので、この機会にぜひご利用下さい。なお、商品のラインナップ等につきましてはお手元の案内をご覧ください。皆様からのご注文お待ちしております。

<お問い合わせは>

購買畜産課・各事務所または地区担当/指導員まで

福島県酪農協
生産部 購買畜産課

飼料タンク掃除実施のお願い

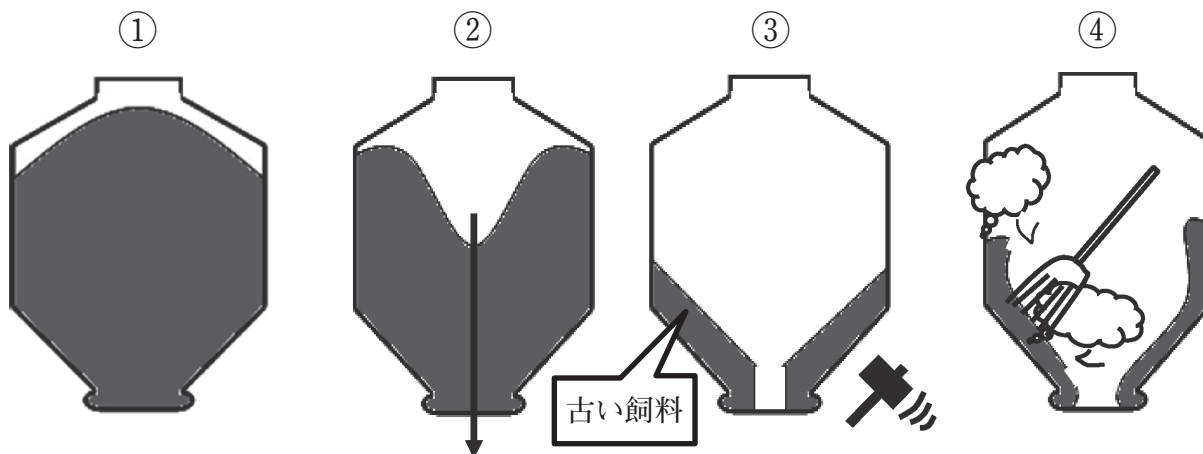
【酪農家の皆様へ】

いつもお世話になっております。

今年の梅雨入りは例年並みもしくは気持ち早い予想がされており、梅雨の季節は温度・湿度ともに高くなり、カビが発生し易くなります。

飼料タンクの壁側に古い飼料が付着したまま放置しますと、カビの発生を引き起こし、新しい飼料にカビが混入する可能性があります。タンク内をご確認の上、長期間付着している古い飼料があれば、以下の方法にて取り除いて頂くようお願い致します。

〈特に梅雨期前後に実施しましょう〉



① 飼料をタンク内に注入しますと、中心部が山のように盛り上がった状態になります。

② 飼料を出しますと中心部が陥没する状態が出てきます。側面飼料は内部に残ります。

③ 第2回以降に飼料を入れる際は、ゴムハンマーで側面を軽くたたいて古い飼料を落とした後に入れて下さい。

④ 1年に一度はタンク内部を完全にからにして、点検・清掃を行って下さい。

★側面に飼料がついたまま新しい飼料を入れますと側面の飼料は固着して落ちません。

★金属部分は年1回必ず塗装して下さい。

★ワイヤー金属部分がゆるんだ場合にはタンバックルを締めて下さい。
(雨水の浸水防止)

★タンクを水洗いした際は、しっかり風を通し乾かして下さい。

※タンクに上がる場合や内部に入る場合には、安全対策（転落防止、酸欠防止）をお願い致します。

何かご不明な点等ございましたら、各事務所・地区担当までご連絡ください。

福島県牛乳普及協会

令和4年度

牛乳・乳製品利用料理コンクール 全国各地の受賞レシピをご紹介します



福島県立福島西高等学校
菊田 百花さん

米粉と桃の オムレット



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- | | | | |
|------------|-------|------------|------|
| ・米粉 | 100g | ・生クリーム用の砂糖 | |
| ・砂糖 | 24g | | 14g |
| ・牛乳 | 200ml | ・桃 (コンポート) | |
| ・卵 | 2個 | | 1/2個 |
| ・ベーキングパウダー | | ・粉糖 | 適量 |
| | 10g | ・油 (焼き用) | 適量 |
| ・生クリーム | 200ml | | |

●作り方

- ① ボウルに米粉、砂糖、牛乳、卵、ベーキングパウダーを入れてハンドミキサーで全体を混ぜる。フライパンに油をひき、中火で3分ほど両面を焼く。
- ③ 生クリームに砂糖を加えて、つのが立つまで泡立てる。
- ④ 生地を生クリームをはさみ、桃をデコレーションする。
- ⑤ 皿に盛り付けをし、粉糖をかける。

ポイント

生地をもちもちにしたかったので米粉を使い、旬の桃をトッピングしました。

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
 - F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>